

令和2年6月19日

令和元年度 学校関係者評価報告書

学校法人 国際総合学園
新潟ビジネス専門学校
学校関係者評価委員会

学校法人 国際総合学園 新潟ビジネス専門学校 学校関係者評価委員会は令和元年度自己点検・自己評価報告書の結果に基づいて学校関係者評価を実施致しましたので、下記のとおり報告致します。

開催概要

1. 開催日時 令和2年6月11日(木) 16:00～18:00

2. 開催場所 新潟ビジネス専門学校 本館 2F会議室

3. 議 事

- ・本学の教育目標、教育方針の確認
- ・令和元年度の実績概要の報告
- ・自己点検、評価結果について
- ・委員からの指摘事項および質疑応答

4. 出席者 (学校関係者評価委員)

<外部委員>

- ・A r t 税理士法人 代表社員 渡邊 信子
- ・株式会社 フュージョンズ 代表取締役社長 佐藤 洋彰
- ・株式会社 新宣 取締役社長 加藤 竜司
- ・医療法人社団 阿賀歯科 阿賀町鹿瀬歯科診療所 代表 渡邊 賢一

<内部委員>

- ・新潟ビジネス専門学校 副校長 長北 政和
- ・新潟ビジネス専門学校 教務部長 遠田 孝之
- ・新潟ビジネス専門学校 事務局長 田伏 菜智

新潟ビジネス専門学校 学校関係者評価委員会における評価・指摘事項等

【令和元年度の実績概要報告について】

○教育実績

- ・ 検定合格率をはじめ、毎年新たな教育の取り組みがあり、大変評価できる。
- ・ 日本一、県内一の実績を毎年継続ができていて素晴らしい。今後も頑張ってもらいたい。
- ・ 実習先の開拓を積極的に行っており、実践的な教育ができています。

○就職実績

- ・ 継続して就職内定率が100%であることは評価できる。
- ・ 独自の企業説明会を実施し、積極的に学生への情報提供がなされている。
- ・ 留学生の就職斡旋もしっかりと行われており、指導力の高さがうかがえる。
- ・ 内定速報などの情報提供もWebサイトやオープンキャンパスなどでしっかり行われている。
- ・ 毎週木曜日の面接指導会（全学生対象の模擬面接会）の取り組みは素晴らしい。

○退学抑止実績

- ・ 今年度は若干苦戦をしたようだが、引き続き2%台を維持しており、申し分ない結果といえる。
- ・ 留学生の退学・除籍については難しい問題が多いようだが、担任だけでなく、学校一体となった管理体制の構築が必要だと思われる。

○学生数

- ・ 18歳人口の減少や大学移行の流れに加え、留学生の受入についても規制が厳しくなっている中ではあるが、在校生数を維持できているのは教育実績等の信頼の証であり、募集活動も十分にできている。

○設置学科

- ・ 各設置学科で積極的な企業連携が行われており、実践的な教育を取り組んでいる点は素晴らしい。また教育の質を担保しながら教育の負担軽減に取り組んでおり、こうした点も継続をしていってもらいたい。
- ・ 新設コースの設置は、外部企業やグループ校との連携が図られており、しっかりとした設置準備がなされている。

【令和元年度の自己評価報告書について】

評価方法	適切・・・4	ほぼ適切・・・3	やや不適切・・・2	不適切・・・1
------	--------	----------	-----------	---------

○教育理念・目標 【評価：4】

- ・全学科デュアル教育導入に向けて引き続き進めてください。
- ・令和2年度はオンライン・動画などを活用した教育が大変重要になる。積極的に取り入れてもらい、新たな教育の形を構築してもらうことを期待する。

○学校運営 【評価：4】

- ・常に最新の情報を提供していることは大変だと思うが、取り組みは素晴らしい。
- ・SNSは多種多様であり、日々変化していくツールであるため、管理も大変だと思うが、効果的な利活用の検討を引き続きお願いしたい。

○教育活動 【評価：3.75】

- ・年々、企業連携実習が活発になっていることは素晴らしい。今後は退学を抑止する点から、企業連携先だけでなく講演会などをうまく活用することも検討してください。

○学修成果 【評価：3.5】

- ・今年も日本一、県内一の教育結果を出しており、継続した検定対策と分析できていることは大変素晴らしい。全員が受験対象となる検定においても頑張ってもらいたい。
- ・在学中に進路決定ができるよう指導強化もお願いしたい。
- ・留学生の生活指導・日本語力向上に向けた工夫と指導を期待したい。

○学生支援 【評価：3.75】

- ・卒業生への支援の具体化をお願いしたい。卒業生の支援ニーズをしっかりと把握し、ニーズにあった支援体制の整備もお願いしたい。

○教育環境 【評価：4】

- ・新潟会計ビジネス専門学校との合同校舎として2年目だそうだが、学生満足度も上がってきた点においては工夫と努力の賜物であろう。引き続き施設・設備の充実と学校生活環境の充実を図ってもらいたい。

○学生の受け入れ募集 【評価：3.5】

- ・留学生の目的意識・意欲低下を招かない指導は難しい面もあると思うが、学校として一丸となった管理体制の確立を目指してもらいたい。
- ・留学生管理は社会問題ともなっているが、貴校はしっかりしている。継続して取り組んでほしい。

○財務 【評価：4】

- ・自己評価についての意見・指摘なし

○法令遵守 【評価：4】

- ・自己評価についての意見・指摘なし

○社会貢献・地域貢献 【評価：4】

- ・様々な活動を通して、中学生・高校生に職業体験の場を提供しており、その取り組みが素晴らしい。
- ・多くの地域イベントでボランティアを提供しており、学生の地域貢献意欲を上げている。

総括

毎年、高い教育実績を創り上げ、少子化の中で学生数を維持できているということは地域・社会から信頼されている証拠であり、大変素晴らしいことである。しかし、令和2年は新型コロナウイルスの影響があるため、思い通りの教育活動、学生募集活動ができない期間ができてしまうと思うが、高い実績を生み出そうという信念と努力、そして工夫をもってこの窮地を乗り越えてもらいたい。一方でオンラインや動画といった新たな教育手法、募集手法がクローズアップされているからこそ、新しい学校教育・学校経営の形を模索して行ってもらいたい。

上記、学校関係者評価委員からの指摘事項等については、所管部署において改善策を検討するとともに、次年度の目標設定や具体的取組の改善を図り、教育の質の向上に一層の努力をすることを確認する。

以 上